

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaka/>

2013.12.14 第63号

発行: 船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

土と火と、実りの里の芸術祭2013 in 船坂 閉幕

船坂トーテンポールが旧船坂小学校門脇に



旧船坂小学校の校門脇に、「船坂トーテンポール」が立てられました。船坂陶芸クラブ会員の皆さんたちが、土と火の芸術祭に向けて思い思いの顔を作り、それを11/4の野焼きで焼き上げた作品です。

立てられた直後の11月29日に、校舎を見学に来られた用海小学校の子どもたちも、「うわ〜、なんじゃこれは!」と歓声をあげながら眺めていました。

今後、トーテンポールは、旧船坂小を訪れる方々をユーモアあふれる顔顔で出迎えてくれることでしょう。

船坂陶芸クラブの皆さん

長瀬真弓(指導者)、北福正美、中西亜希子、亥角英つ子、宮本恵美、足立 博、大崎忠男、一氏弥生、池田壺和、池田峯代

生きる数珠を善照寺に奉納

11月30日に善照寺で行われた報恩講で、「生きる数珠」が奉納されました。船坂文芸サークルの皆さんたちが、作家:鈴木貴博さんの指導のもと、素焼きの珠に「生きる」と掘り込んだものを、11/4の野焼きで焼き上げた作品です。

焼きあがった珠を、鈴木さんが丁寧に数珠状につなぎあげ、奉納文とともに木箱に入れて奉納されました。

奉納文

善照寺は船坂のヘソである。明治5年開設の船坂小学校はこの本堂で産声をあげた。船坂の「文化」と「生きる」の中心である。祖先は懸命に「生きて」船坂の今日がある。我々も懸命に「生きて」船坂を守り、子孫に伝えていかねばならない。生を受けたものは生きなければならない。「生きる、生きる」である。

私たち一同は、個人を含め、生ある万物すべてのものに「生きる、生きる」の願いをこめて、この数珠を奉納する。

奉納者(船坂文芸サークルの皆さん)

池田壺和、亥角洋子、大前忠司、大前秀子、北福康子、坂田芳郎、坂田礼子、坂本茂、柴原タネ子、島津久美子、中尾祐次郎、中西博子、牧野いつ子、榎木三重子、山崎昌子、鈴木貴博、鈴木曜子、善照学園絵画部



株式会社加登

☎ 078-904-3843

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4

墓石のことならお任せください



651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280
tel: 078-903-5314 Fax: 078-903-5319
<http://kozaidonya.com>



ガレージ&カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
<http://www.penny-lane.jp/>

お知らせ

12月に予定されていたランチルームの耐震工事が入札業者が決まらなかったため延期となりました。次回、12月19日に改めて入札が行われます。また前回不調となった木造校舎の耐震工事は、来年度に先送りされることとなったため、今後、木造校舎の管理をどうするのかを検討することとなりました。
(管理運営委員会)



いよいよ船坂資料展示室の基本設計に着手

船坂小跡施設活用推進委員会が11月19日に開かれ、市から校舎の鉄骨造部分に資料室を設けるため、12月上旬に「人・まち・住まい研究所」へ基本設計を発注したいと表明がありました。船坂地域の文化・歴史・伝統を次世代に継承する展示について3月末にかけて基本設計が行われる予定です。26年度には、引き続き実施設計と展示品作成が行われる計画です。
(船坂小跡施設活用推進委員会)



加工品グループ大活躍！女川さんま収穫祭に参加して



鳴尾臨海公園にさんまを焼く煙と焼き魚のい～い匂い。思わずお腹がグ～!!!

秋晴れの穏やかな11月16日、宮城県の女川町の方々が復興を支援してくれた西宮市民に感謝の気持ちを伝えたいと漁港で水揚げしたさんま3000匹を炭火で焼き、無料で振る舞ってくれました。その会場で、鳴尾東ふれあいまちづくりの会～和(なごみ)～のメンバー(西宮北部のお野菜を販売されている)NPO法人くろーばーの田村さんを通じて船坂の加工品を販売させていただきました。



手作りジャム(梅・スモモ・トマト・ブルーベリー)やらっきょうの甘酢漬け、よもぎ餅、生芋こんにゃく、そばかりんとうを持ってメンバー3人で山越え、海の見える公園へ。10時開店から13時半には全て完売となりました!!会場では河野西宮市長も立ち寄られ、商品も見てくださいました。夕方から始まったさんま祭りの懇親会と～和～の懇親会にも参加させていただき、今後同じ西宮の北部と南部の交流が出来ればいいですね、と言って頂き帰路につきました。

土と火と実りの里の芸術祭、ふれあい広場、女川さんま収穫祭とイベントを通して‘船坂の実りの味’をそして‘手作りの味’を少しでも広めることが出来たかな!と昼夜を問わず調理に集ったメンバーと喜んでいます。

耐震工事で活動の見通しがつきませんが、出来ることをやり続けていきたいと思っていますので、今後共よろしくお願ひします。

加工グループ「船坂里山工房」 古藪 優子



◎石窯PIZZA & CAFE
◎お料理教室 sakura factory

西宮市山口町船坂302-1

TEL:078-907-5070

<http://chikuwa-cafetovado.com/>

12/25(水)X'masコンサート

ソプラノ 並河寿美
バイオリン 赤松ゆか
18:00～¥3,800 (要予約)



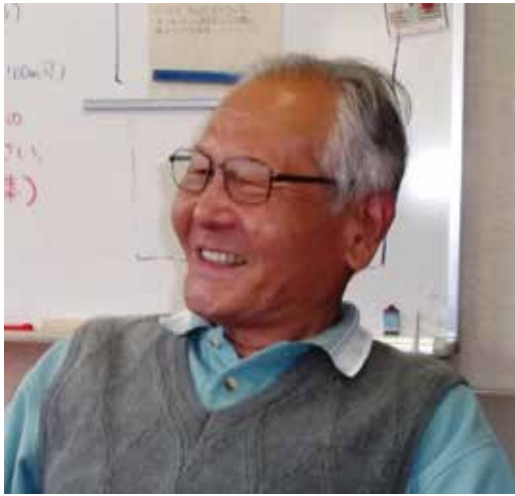
西宮市山口町船坂1648
Tel:078-903-1172

創業昭和八年
北福畳店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660

船坂住民数珠つなぎ



今回は、自称「おしゃべり好き」の10班の上の大前忠司さんのご登場。どんな質問にもお答えいただいて、とても嬉しかったです(*^_^*)。

—船坂にはいつからお住まいですか。

大)常に住みはじめたのは6年ほど前からです。丹波の氷上で生まれ育って、18歳の時に大阪の知合いに誘われて、料理の見習いをはじめました。

—え？ 大前さんは料理人をされてたんですか？

大)そうなんです。今でも家で魚料理の刺身・焼き物・煮炊き物は私がやっています。でも、それ以外は全部妻がやってるので、「僕がご飯を作ってる」なんて偉そうなこと言ったら、妻に叱られてしまいます(笑)。

—大阪ではどのような生活を？

大)大阪での見習い期間が約7年。24歳の時に別の店に勤めていた妻と結婚して、25歳で子どもが生まれました。26歳の時に自立して大阪市の住之江区で「おおまえ」という名で店を開業しました。昼は店を開けずに注文を受けての弁当作りと配達だけにして、夜は居酒屋として店を開けて17時から23時まで営業していました。

—毎日がすごく忙しそうですね。

大)店を始めてからの10年間は本当にあっという間でした。27歳の時に2人目の子が生まれたんですが、夫婦2人で店をしていたので、その子が生まれるまで妻は店で働いてましたから。その時が一番大変でしたね。

—船坂という地域はいつ知ったんですか？

大)昔、煙草屋だった4班の中尾が僕と親戚なんで、船坂のことは以前から知ってました。それに弟が既に船坂に住んでいて、「こっちに来たらどうや」とも言われていたんです。でも、大阪にずっと住んでいましたし店もあったので、店を閉めてからセカンドハウスとして暮らしてもいいかなと思って、昭和50年頃に土地だけは買っておきました。実際に家を建てたのは平成8年頃だったと思います。

—船坂の暮らしはいかがですか？

大)いやもう、快適のひとつことですね。だから今は、こちらの生活が主になって、大阪の家が月1回帰るか帰らないかのセカンドハウスになってしまいました(笑)。盆栽が趣味で120鉢ほどの世話をしたり、散歩やコミセンの管理当番で船坂のいろんな人とおしゃべりしたりして毎日を送っています。家から望む船坂小学校を中心とした船坂といったの景色は素晴らしいし、ご近所さんもいい人たちがばかりだし、ここにきて本当に良かったと思います。この生活をずっとずっと続けていきたいですね。

(インタビュー：中西 学)

Kawahara Kobo



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL 078 (904) 2603
パースデーケーキをお宅までお届けします。
(山口町内 無料配達いたします。)



西洋料理/船坂

〒651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂216
078-903-1158
<http://www.seiyoryori-funasaka.com/>
HPに最新情報を掲載しています



西宮生まれのかばん屋さん「JIB」のアトリエとショップがオープン!

船坂橋から白水峡に向かう途中の濃紺の建物が装いも新たに「JIB」のショップとアトリエ(工房)として11月23日にオープンしました。早速遊び心満載の杉原社長にお話を伺いました。

JIB(ジブ)とは、ヨットの2枚帆の前の帆のことで「旋回」を意味するそうで、クジラのマークと共に、杉原社長の若い日の夢の象徴だそうです。JIBでは、ヨットの帆の素材となるセイルクロスを使った手作りのカバンで、とっても軽くて、強くて、そして汚れたら簡単に洗えるそうです。

船坂を選ばれたのは、50数年前、用海小学校の時の林間学校で船坂を知ったそうで、田舎っぽくありながら、便利さは都会並みなので、芦屋なら奥池、西宮なら船坂に決めてたそうです。だからずっと船坂にアトリエを持ちたいと思っていて、その、夢と憧れが、JIB 35周年の今実現できたそうです。また、外に掲げている旗は、船の旗で前を通る人に「気をつけて運転しいや」とか「今日も頑張ってるや」とエール送っているそうです。

(八濱雅彦)



船坂の人に一言

自然豊かなこの地で、より幅広い自然との遊びを通して、新しいJIBの世界を創造していきたいと思っています。ショップを見て、ゲストルームでゆっくりしてってください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。尚、ショップの営業は、金土日のみです。

スタッフ募集：JIBさんでは船坂アトリエのスタッフを募集されています。

詳しい内容は直接お店へご確認ください。



編集者つぶやき



妻にせっつかれ、庭にイルミネーションを出しました。首振りトナカイの周りに小さな光が…。イルミネーションは、一つ一つの光は小さくても、細いコードを伝って輝く様子が観る人の心を暖かくします。生き生きと活動する船坂の人たちのおもてなしに接した他所の人が感動されるのと似ている気がします。

今年はビエンナーレがなく早く出せたけど、来年も早く出せるようがんばらなくっちゃ。

池田壺和

12月に入り、寒くなってきてましてね。気のせいかわか例年より今年はまだ暖かい気がします。我が家のわんちゃんが一週間行方不明になり、ちょうど一週間たち、無事戻ってきました。怪我はなく少しやせて帰ってきました。なにより無事に帰ってきてくれてよかったです。それでは皆様よいクリスマスとお正月をお過ごしください。

プライス里佳

Calender(12/14-1/11)

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	バレーボール(水19:30) テニス(水10:00 土日9:00) 野球(月2〜3回) ゴルフ(年3〜4回) グランドゴルフ(水金13:30) ヨガ(月10:00 火19:30) カラオケ(3月まで休部) 陶芸(第2・4火10:00) たんぼぼ(第4日) 趣味の作品(常設展示)
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
自治会定例会	こども会Xmas会 新聞編集委員会			老人クラブ定例会	船小活用委員会			管理三番Xmas会 旧船小学校舎ワックス塗り 山王神社しめ縄づくり			ベルグ演奏会 小中学校終業式						元日							老人クラブ三社詣 ベルンパティエント懇談会 小中学校始業式			自治会定例会			



Kobako Vege
こばこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com



セブン-イレブン
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

Daddy's Bakery



〒651-1423 西宮市山口町船坂90
TEL: 078-907-3920